

平成 28 年 9 月 12 日

日本樹木医会都道府県支部 支部長・事務局長・通信員 各位
日本樹木医会 企画・技術・広報・事業部会、編集員会構成員 各位
樹木医 NPO 法人、一般社団法人役員 各位
樹木医学会 森林総合研究所・大学会員 各位
樹木医第 23・24・25 期ほか 各位

調査主体 (一財)日本緑化センター
調査協力 樹木医学会
(一社)日本樹木医会

樹木医動向アンケートのお願いについて

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より樹木医制度の発展にご協力を賜り誠にありがとうございます。

さてわが国の樹木医制度は創設から 2015 年で 25 年を経過し、全国で樹木医認定者数は 2,565 名 (2015 年 12 月末)、樹木医補認定者数は 3,544 名 (2015 年 10 月末) に至っています。

制度の発足した 1991 年からの 10 年間は、全国各地にある巨樹・名木・古木林等の樹勢回復と保全に重点を置き、次の 10 年間はケヤキ等の倒壊を契機に東京都で街路樹診断マニュアルを作成 (1998 年度) するなど街路樹の倒木危険度診断が緊急課題となりました。さらに、2015 年度は「公園施設の安全点検に係る指針」(国土交通省) にもとづき、適確な樹木管理を行うために、国営昭和記念公園で「都市公園樹木点検診断マニュアル (案)」が策定されるなど、街路・公園樹等の都市施設樹木の安全点検診断が重要課題となるとともに、里山保全や自然再生の中で改めて巨樹・古木を大切にすることへ関心が高まっています。

当センターは樹木医制度の全体設計と運用を役割とし、樹木医を専門職能として確立する目標を掲げ、樹木医の学ぶべき専門領域の提示、人材の育成、活動領域の拡充に取り組んでいます。

そこで、制度創設 30 年に向けて社会の要請に的確に対応できる樹木医制度の充実を図るため、全国の樹木医等を対象とするアンケートを実施し、調査結果をもとに樹木医の現状、問題点、課題を把握することから、樹木医技術の発展および樹木医学会、日本樹木医会、日本緑化センターの 3 組織による制度の充実資する基礎資料を得たいと考えています。

ご多忙の所、誠に恐縮ですが趣旨をご理解いただき、アンケートにご回答のうえ、10 月 14 日までにご返送賜りますようお願い申し上げます。

アンケート結果は当センターで報告書を作成し、当センターウェブサイトで公表するとともに、機関誌グリーン・ページ 2016 年 12 月号 (2016/12/15 発売) でもお知らせします。

なお、本アンケートは 5 年毎に実施し、5 年間の進展、新たな問題点と課題の把握を継続して行うことを予定しています。

お問合せ・返送先

(一財)日本緑化センター 企画広報部 樹木医動向アンケート係

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 2F

TEL 03-3585-3561 FAX 03-3582-7714 返送先メールアドレス ank@jpgreen.or.jp